

夏季高温年における「雪若丸」の刈取適期

山形県農業総合研究センター土地利用型作物部

研究のねらい

「雪若丸」の刈取適期は、通常、出穂後積算日平均気温で 950℃から 1,200℃であるが、夏季が高温の年は登熟の進捗が早く、刈り取りが遅れて品質が低下する事例が見られる。このため、夏季が高温となった場合の刈取適期を明らかにし、高品質な「雪若丸」の安定生産を図る。

研究の成果

- ① 整粒歩合^{*1}は、出穂後積算日平均気温が 900℃を超えるとほぼピークに達し、1,150℃を超えると徐々に低下する（図1左）。
- ② 胴割粒歩合^{*2}は、出穂後積算日平均気温が 1,150℃を超えると急増する（図1右）。
- ③ 以上のことから、令和5年のように出穂後30日間の平均気温が 27℃以上となった場合の「雪若丸」の刈取適期は、通常より 50℃早めた出穂後積算日平均気温 900℃から 1,150℃の範囲とする（表1）。

※1 整粒歩合：十分に熟して形が整った玄米の割合

※2 胴割粒歩合：亀裂が入った玄米の割合

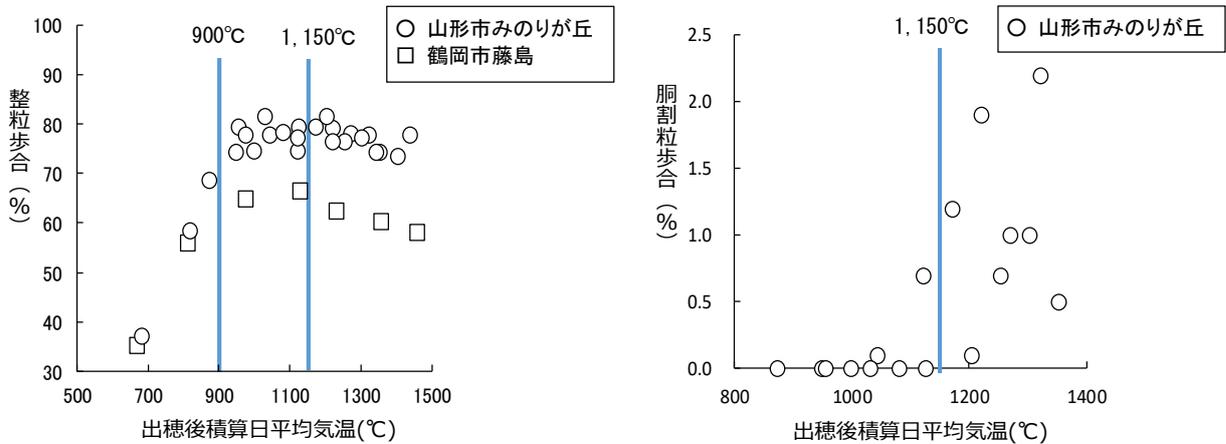


図1 令和5年の出穂後積算日平均気温と整粒歩合、胴割粒歩合の推移

表1 品種別の刈取適期の目安

品種	通常年	夏季高温年	
	刈取適期 (出穂後積算日平均気温)	出穂後30日間の 平均気温	刈取適期 (出穂後積算日平均気温)
雪若丸	950~1,200℃	27℃以上 ^{*3}	通常年より 50℃ 早める
はえぬき	950~1,200℃	25℃以上 ^{*4}	900~1,150℃
つや姫	1,000~1,200℃	26℃以上 ^{*4}	950~1,150℃

※3 令和5年の「雪若丸」における出穂後30日間の平均気温は、山形市みのりが丘で 27.4℃（平年：23.8℃）、鶴岡市藤島で 28.9℃（平年：25.3℃）であった。

※4 「はえぬき」「つや姫」は、出穂後30日間の平均気温がそれぞれ 25℃、26℃を超える場合、刈取適期を 50℃早めることになっている。同時期の平均気温が 27℃を超えた令和5年においても、この範囲で対応可能であった。